

～理解を深め、望ましい行動選択をしてほしい～

例年は中高生全員で講演を聴く形式で行っていましたが、今年度は、感染症防止対策として、中学生が直接講演を聴き、録画したものを高校生が学年ごと視聴するという形式で実施しました。

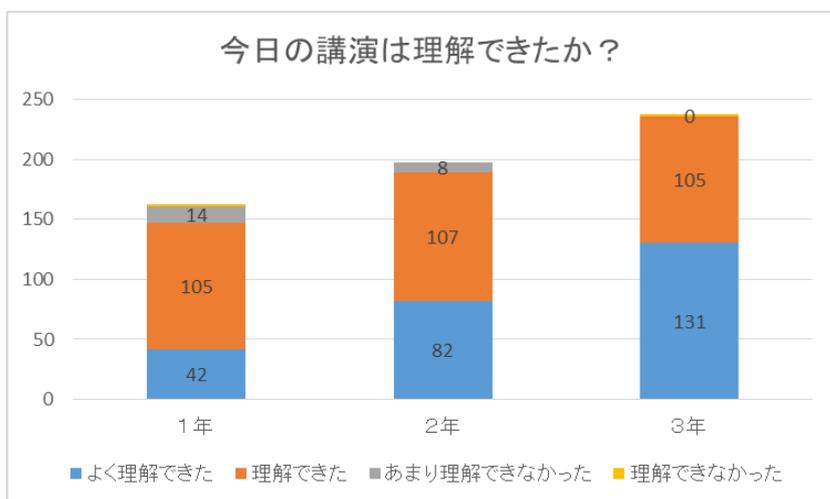
講師は本校学校薬剤師、星野輝彦先生。演題「ルールを守る」

内容は、薬物乱用（タバコ、アルコール含む）、薬教育、ドーピング、コロナ感染症。

コロナ感染症についてはコロナウイルスの構造や発病前から感染力があること、症状、手洗いの効果と注意点やマスクの効用、人権に関わることなどたくさんのお話を教えていただきました。

生徒の事後アンケートの結果を通して

- ・学年があがるごとに理解度が高まっていることがわかります。



・講演内容の項目ごとに有用度について聞いた項目では、今の状況からコロナ感染症がダントツで、その次に薬物乱用、薬、ドーピングの順ではありましたが、コロナ感染症以外は学年で差異がありました。

(有用度 1←高い 低い →4)

	1	2	3	4
薬物乱用	111	192	275	106
薬教育	108	300	177	94
ドーピング	17	73	152	424
コロナ感染症	427	111	56	44

録画のため、聞き取りづらいところもありましたが、生徒は積極的に講演を聴くことができていました。